

くず 葛 町 ちよう

一 揆導く藤本小左衛門

江戸時代の農民一揆に倒れた村人を慰霊する「義民位牌」ぎみんいはい」が、いまも町東部の浄教寺本堂で祭られています。この宝暦三（一七五三）年に起きた農民一揆は、当時の十市郡葛本村をはじめ内膳・新賀・木原・常盤など、九か村の農民が領地を支配する芝村藩の重税に抗し立ち上がった大騒動で、世に「芝村騒動」と呼ばれて有名です。

芝村藩役所から南都奉行所・京都奉行所までの度重なる訴えで重税は大いに減額されましたが、一年八か月に及ぶ騒動を「徒党強訴」と幕府が判定したため、死罪一・遠島四など犠牲者多数を出す悲しい結末となります。一揆を指導した葛本村庄屋・藤本小左衛門の子孫が、一揆の由来を記した「位牌由来記」とともに残したのが浄教寺・義民位牌です。

当地の地名が「楠本」「葛本」「橋本」などと書かれ、主に南都・興福寺関係領地として平安時代以降の古文書に登場しています。江戸時代を「葛本村」で過ごしたあと、明治時代を迎え同二三年に耳成村大字となります。

「檀原市葛本町」となるのが昭和三十一年です。町北部に奈良県自動車運転免許試験場の開設されるのが昭和四二年のことになります。